

## 編 集 後 記

平成 25 年度から本誌の編集委員の一人に任命されてから早 6 年が過ぎました。沢山の症例報告や短報を査読させていただき、私も大変勉強になっております。

本誌は第 55 巻 1 号からオープンアクセス電子ジャーナルに移行し、神経学会会員のみならず一般の読者も閲覧可能となり、本誌に掲載された数多くの症例報告や総説がダウンロードされています。英文誌ではオープンアクセスジャーナルが急増していますが、それにかかる掲載費は決して安くはありません。本誌はオープンアクセスですが高額請求は致しません。1960 年に発刊され 59 年の歴史を持つ脳神経内科専門誌です。厳しい査読を受け、一定の基準に到達した論文のみが掲載されています。世界的基準で timely に投稿された優れた論文のみを掲載しています。一旦 accept されれば短期間に on-line 上で公開され、英文抄録は PubMed/MEDLINE に掲載されます。誰も知らない、見たこともないかも知れない、皆様が経験された症例をまず本誌に掲載し、その後、類似例が集まったところで、本誌に掲載された症例報告を引用しながら、英文誌に原著として投稿してはいかがでしょうか？

私は中枢神経系の自己免疫性疾患の分野の査読を主に担当しています。今や世界はインターネットでつながっています。海外では診断できるのに国内では診断の鍵となる自己抗体が測定できないために、一部の自己抗体のみを測定し、診断根拠が曖昧のまま加療をしていることはないでしょうか？ 日常診療ではやむを得ないかも知れませんが、症例報告としては不十分です。世界に発信している神経内科専門誌としては、鑑別診断が十分にされていない症例報告は accept することはできません。世界に視野を広げ、目に見えない真の原因を見つけ出す努力をして下さい。

皆様が診療をしていて、いつもとは何かが違うと、その「意外性」に気づかれた時、それを深く掘り下げ、神経徴候、検査所見あるいは画像所見を記録し、報告して下さい。いつか誰かが類似例を経験した際に、PubMed/Medline で検索し、先生の論文を目にすることにより、遠く離れた地での診断・治療の一助となることでしょう。皆様からのさらなる投稿をお待ちしております。

(飯塚 高浩)

### 〈 編 集 委 員 〉

編集委員長 園生 雅弘 編集副委員長 高尾 昌樹  
 編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡 古賀 政利  
 鈴木 匡子 坪井 義夫 西野 一三 星野 晴彦  
 編集委員(幹事兼任) 小野寺 理 新野 正明 三澤 園子

「臨床神経学」	第59巻 第8号	2019年8月1日発行	
編 集 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		一般社団法人日本神経学会
発 行 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		戸 田 達 史
印 刷 所	〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入		中西印刷株式会社

発 行 所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル  
 日 本 神 経 学 会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>